

ぱとあ

INFORMATION インフォメーション



耳原総合病院

Doctor's Introduction

耳原総合病院医師紹介

総合診療科 大矢 亮

おおや あきら



総合診療科

主な認定資格

日本内科学会 認定内科医
日本救急医学会ICLS認定コースディレクター
日本救急医学会ICLS認定ディレクター
大阪府医師会ACLS大阪 認定インストラクター
大阪府医師会ACLS大阪 認定ディレクター

総合診療科に所属しています大矢亮と申します。生まれも育ちも長崎ですが、長崎大学卒業後は、縁あって耳原総合病院に勤めています。

実家は、長崎市の界町(さかいまち)というところで、今は、土が付いて堺になりました。長崎と堺は、街なかで異国の面影を感じるところも似ていて、縁というか何だか不思議な感じがしています。

現在、私が所属する総合診療科というのは、内科や外科などと比べると、なかなか耳慣れない分野だと思いますが、いつもは総合病棟、総合外来、ERなどで診療をしています。カッコよく言うと専門がないことが専門というか、患者様のどんな訴えにも対応できることを目指して日々研鑽を積んでいます。私の中のイメージでは、昔ながらの

所属学会

日本プライマリーケア連合学会 会員
日本静脈経腸栄養学会 会員
日本医学教育学会 会員
PEG・在宅医療研究会 会員

“町医者”が一番びったりきます。具体名を挙げるなら、やはり“赤ひげ”でしょうか。

診療以外には、研修医の研修指導を担当しており、実際には指導というよりも、一緒に悩んで勉強するという感じで、日々刺激を受けながら、一緒に診療を行っています。研修医の先生たちが、患者様に一生懸命向き合いながら日々成長する姿は、本当に遅く、一緒に仕事をしていたく、うれしくなります。私は今でもそうですが、特に研修中は患者様からの温かい言葉に励まされ、叱咤激励にやる気をいただきながら成長してきました。そして何度も助けていただきました。その度に「耳原の患者さんは暖かいな」と感じています。もっと恩返しできるようにがんばりますので、これからもよろしくお願ひします。

耳原総合病院 地域医療課

直通電話 072-241-0324

直通FAX 072-241-0208

- 「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。
- ※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。
- 予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの
- ①保険証、②診療情報提供書、③上記予約票
- ※上記の3点をご持参いただくよう、患者様にお伝えください。



vol.123
ぱとあ
(7月号)

2012年7月10日発行

■発行人/奥村伸二 ■発行/社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療課
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
TEL 072-241-0501 (代表) TEL 072-241-0324 (直通)
URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

耳原総合病院の基本方針 —2015ビジョン—
「いのちの平等をかかげ、大阪南部になくはならない保健・医療・介護・福祉の複合体として、24時間365日、安全・安心・信頼の事業体とまちづくりを進めている」

ぱとあ

耳原総合病院機関紙

vol. 123
2012.7.JULY

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- ♥安全、安心、信頼の医療
- ♥無差別、平等の医療
- ♥患者負担の少ない医療
- ♥地域とともに歩む専門職の育成



QOL (生活の質) の向上を目指す

心臓リハビリテーション

当院では、心臓リハビリテーション室を設け、理学療法士、看護師が常駐しながら運動療法の提供や生活指導をおこなっています

慢性心不全や狭心症など心疾患を抱えた方は、息切れなどで日常生活の活動が制限されたり、不安で活動範囲を狭めたりすることがよく見受けられます。また、動き過ぎによる心臓への負担増、食事や服薬の管理ができていないなどで再発を繰り返す方もおられます。

心臓リハビリテーションは、運動療法の提供により、息切れの原因となる運動耐用量(いわゆる体力)を向上させ、日常生活の拡大、仕事や趣味活動などの社会生活の拡大、QOL(生活の質)の向上を目指すプログラムです。さらに運動療法の提供にとどまらず、医師・看護師・コメディカル(理学療法士、栄養士、薬剤師等)が関わり、適切な運動方法の指導、食事や服薬、禁煙などの生活指導、精神面への支援を行うことで、再発防止や予後の向上にも効果があるとされています。

今や心疾患は、悪性疾患について日本人の死因の第2位となり、虚血性心疾患の患者数は80万人ともなわれています。動き盛りの方から高齢な方まで患者層も幅広くあり、心臓リハビリテーションは手術や薬物治療とあわせ心疾患治療の柱として注目されています。

当院では、心臓リハビリテーション室を設け、半日のみです理学療法士、看護師が常駐しながら運動療法の提供や生活指導を行っています。

運動療法の方法としては、心臓に負担とならない酸素運動を行います。まず、心肺負荷試験で運動耐用量を評価し、運動処方に基づいて、心電図モニターで監視しながら自転車エルゴメーターやトレッドミルを用いて30分程度の運動を行います。さらに、筋力増強訓練も併せて行うことで筋持久力の向上を図っています。

この間、心臓リハビリテーションを受けられた方から「歩く距離が延びた」「安心して旅行に行けるようになった」「何もできないと思っていたけれど、できることがわかり生きる希望が湧いてきた」などの声をいただいています。動き盛りで病気になっても、元の仕事に戻っていられる方も多くおられます。

心臓リハビリテーション室を持っている施設は堺市下ではまだ少なく、当院も昨年開設したばかりですが、日々患者数が増え要望の多さが伺えます。心疾患を抱えながらもより健康で快適な生活を送るため、心臓リハビリテーションがその一翼を担えるものと考えています。



心臓リハビリテーション室